

# 研究開発マネジャー 実践力強化セミナー

演習つき

新事業がうまれるチーム作り

開発実務マネジメント

技術人材育成

開催日時 **2023年 5月24日(水)** **2023年 9月19日(火)** **オンライン** 各回とも 10:30~16:30

対 象  
・研究開発・技術部門の管理者、マネジャー  
・管理者候補の方 ・新事業、新商品開発、企画等に携わる人

講 師 **奥村 治樹 氏**  
ジャパン・リサーチ・ラボ 代表

参加料(税込) 法人会員: 55,000円/1名  
会 員 外: 66,000円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。  
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。  
<https://www.jma.or.jp/membership/>  
※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

## ね ら い

社会の変化は加速し、さまざまな価値は時間と共に移り変わっています。次代の基盤事業、中核商品を生み出し続けるためには、**開発部門の活性化、効率化**が欠かせません。

技術部門マネジメントの難しさは

- ・「できて当たり前」が前提ではなく、**リスクを取ってチャレンジすること**
- ・技術者は**個性や信念が強い**側面があり、それに応じたマネジメント

が求められる点にあります。さらにこれらも時代と共に変化しており、技術部門のマネジメントは特有の考え方、対応が必要となります。

本セミナーでは、複数の企業における技術者としての実務経験(テーマ創出、指導育成、マネジメント等)と多くのコンサルティング経験をあわせもつ講師が担当します。新事業・新商品開発がうまれるチームづくり、開発実務マネジメント、技術人材育成について技術者目線、技術者の立場から解説しますので、納得しながら学び具体的な実践スキルを習得することができます。

## 技術部門のマネジメントで 必須となる考え方・方法

- ☒ コア技術を活用しながら、テーマ創出して成果につなげる
- ☒ 技術人材・チームを育成する
- ☒ 研究開発マネジメント

## ■ プログラム

10:30~16:30 [昼食] 12:00~13:00

### 1 イントロダクション

### 2 技術部門マネジメント **演習**

- ・人材・組織・環境のマネジメント
- ・アウトプットスキル育成のために

### 3 技術部門マネジャーが求められること

### 4 目的と目標

### 5 仮説と検証

### 6 テーマ創出 **演習**

- ・そもそも実験の前に
- ・強み優先か、弱み優先か
- ・コスト問題
- ・シーズか、ニーズか
- ・アイデア生産の実際
- ・イノベーションを生む発想と行動

### 7 計画の考え方

- ・マネジャーが示すべき計画の基盤
- ・計画の可視化と共有
- ・優先順位
- ・予算の算定
- ・必要時間予測の考え方
- ・リソースマネジメント
- ・スケジュールの条件

### 8 実務マネジメント

- ・マネジメントの必須ポイント
- ・3つの想定
- ・3つの制約
- ・ドライビングフォース
- ・判断のルール
- ・監視すべき項目

### 9モチベーションマネジメント **演習**

- ・2.0から3.0へ
- ・内的要素と外部要因
- ・能力とモチベーション
- ・期待理論

### 10 評価

- ・目標管理が失敗する理由
- ・成果主義の問題
- ・目標管理と評価に必要なこと
- ・量と質
- ・両輪視点
- ・目標管理と評価が失敗する理由
- ・目標管理と開発
- ・評価の基盤
- ・フォロー
- ・マネジャーの役割(評価)

### 11 指導と育成 **演習**

- ・スキル、知識、そして、経験
- ・教えることと導くこと
- ・目指すべきは
- ・ソクラテス式
- ・結果とプロセス

### 12 指示の出し方 **演習**

- ・指示の内容
- ・レベル
- ・説得と納得
- ・???指示
- ・2つの指示
- ・以心伝心

### 13 技術マネジメント: 創出・発展・継承

- ・創出・発展
- ・今必要なもの
- ・継承とナレッジの共有化
- ・継承することの本質
- ・ソフト要素
- ・良い訓練とは
- ・ベンチマーク
- ・未来の要求
- ・技術力の継承とは
- ・2つの成長
- ・OJTが機能しない理由
- ・マネジャーの役割(継承)

### 14 まとめ・質疑

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

